



広報改革  
2018

平成30年11月28日  
大臣官房広報課

“時代の変化にチャンスを見出す すべてのビジネスパーソンへ”

グラスブ

『Grasp』

11月30日ウェブマガジン配信開始！

未来投資戦略などに関連する国土交通省の先進的な政策や取組を広く周知し、興味を喚起していくために、“広報改革”の戦略的施策として、11月30日よりスマホで見られるウェブマガジンの配信を開始いたします。月ごとに、政策や取組に呼応する社会課題をインタビューテーマとして設定し、視座の異なる3名のロングインタビュー記事を毎週配信。また、あまり知られていない国土交通省の所掌業務や職種をイラスト等で紹介するサブコンテンツも展開します。

テクノロジーは過疎を救うのか？

物流イノベーション

ビッグデータ

MaaS

スマートシティ

スーパーメジャージョン

自動運転時代、移動はどう定義されるのか？

シェアリングは経済を成長させるのか？

時代の変化にチャンスを見出す すべてのビジネスパーソンへ

2018.11.30配信開始 [グラスブ](#)

●公開日：11月30日（金）スマートフォン用ウェブサイト公開

※パソコン用のウェブサイトは12月11日（火）に公開予定

## ●ウェブマガジンのコンセプト

### 社会課題を大局的に捉え、様々な視座から解決の糸口を見出していく ロングインタビューに特化したウェブマガジンです

AI、IoT、VR、AR、センサー、G空間、ビッグデータなど日々進む技術革新。  
もの・こと・サービスは様々に刷新され、産業パラダイムも大きく変容し、国際競争も激化。

国土交通省も変わり続けています。ハードからソフトへも拡張するインフラ事業、国際市場の取り込み、イノベーションを社会実装していくための様々な実証実験やモデル事業、官民連携、そしてルールメイキング(規制緩和や制度改正等)。

社会テーマに入口を設けながら国交省の新たな取組や施策をより広く、より深く届けること。それがGrasp (グラスプ) のミッションです。

※Grasp (グラスプ) とは・・・ぎゅっとつかむ、(…を)理解する、把握(はあく)するの意

## ●配信コンテンツ

メインコンテンツ：

サブコンテンツ①：

サブコンテンツ②：

The screenshot displays three content sections from the Grasp magazine website:

- INTERVIEW**: Vo.1 テクノロジーは過疎を救えるのか. It features three interview items with photos and names: 小野正人 (Shigenori Ono), 石黒浩 (Hiroyuki Ishiguro), and 森昌文 (Masahiro Mori).
- 寡黙なヒーロー** (Solitary Hero): 職業擬人化シリーズ. It lists seven files: file1 TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊), file2 MaaS, file3 i-construction, file4 コンパクト・プラス・ネットワーク, file5 地震・津波監視, file6 海軍国際交渉, file7 海上保安庁. It ends with "...to be continued".
- 初耳係長** (First-time Chief): 聞いたことのない、レアな役職名コレクション. 一体どんなお仕事? It includes a cartoon illustration of a character and a text box explaining the role of a Gravity Chief (重力係長).

At the bottom of the page, there are three navigation buttons: ●火曜・金曜 (第1~3週) に前編・後編配信, ●月1~2回不定期配信, and ●月1~2回不定期配信.

URL : <https://www.magazine.mlit.go.jp>

## \*国土交通省の広報改革

国土交通省では平成20年度より他省に先駆けて広報改革を進めています。今回は、年間3,000件に及ぶ報道発表を始めとする膨大な情報の中から、先進的な取組をより広くわかりやすく“つかんでもらう(Grasp)”メディアコンテンツを配信。受け手目線から徹底的に紐解く本施策をきっかけに、“情報発信の仕組みそのものを改革していく”ことに取り組んでいきます。

<問合せ先> 国土交通省大臣官房広報課 広報改革チーム 柳、朝倉

tel 代表：03-5253-8111 (内線：21-526)

直通：03-5253-8187

FAX：03-5253-1526